

(お知らせ)

定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所 2号機における
主蒸気隔離弁閉の誤信号の発信について

平成 16 年 4 月 7 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 2号機(沸騰水型、定格出力 110万キロワット)は、平成 15年 3月 10日から第 10回定期検査を実施しておりますが、本日、中央制御室内においてタービン制御系の点検作業を実施していたところ、午後 3時 24分頃、主蒸気隔離弁^注閉の信号が誤って発生し、開いていた原子炉格納容器の内側にある 4つの主蒸気隔離弁が閉動作いたしました。

現在、プラントは停止中であり、主蒸気隔離弁の閉動作による安全上の問題はありません。

原因については現在調査中です。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

注 主蒸気隔離弁とは、主蒸気配管に設置されており、原子炉格納容器の内側と外側にそれぞれ 4弁ずつあり、主蒸気配管の破断等が起こった際に弁を閉めることにより、放射性物質を含む蒸気が系外へ放出されることを防止する。